第40回上士幌ウィンターバルーンミーティング

the40th kamishihoro Winter Balloon Meeting

冬の風物詩、「上士幌ウィンターバルーンミーティング」が第40回の節目を迎え、2月10日(土)から11日(日)の2日間にわたり開催されました。

今回は全国から15チームが参加し、運営本部のオフィシャル気球と合わせて全20機の色とりどりの熱気球が極寒の上士幌の空に舞い上がりました。

初日は穏やかな晴天のもとスタートし、「フライ・イン」という競技が行われました。道の駅南東に設定された目標に各チームが風を読み飛行し、道の駅近くでは低空で飛来する気球に歓声が上がる場面もありました。2日目はやや風があるものの快晴で、初日と同じ「フライ・イン」が行われ、各チームが競技を通じて交流している様子でした。

道の駅では同日にキャンプイベントが開催されており、体験搭乗や屋台、花火などのイベントで、来場者を楽しませてくれました。また、インバウンド向けのモニターツアーも開催されており、珍しい10人乗りの熱気球などがお披露目されました。

全国から参加されたバルーニストの皆さま、競技などの運営にご協力をいただきました皆さま、ご支援ご協力をいただきました全てのみなさまに厚くお礼申し上げます。

1/17

長野オリンピック開催の地へ

福澤芯之助さん全国大会出場

2月3日から6日にかけて長野県で開催される令和5年度全国中学校体育大会第44回全国中学校スケート大会に出場する上士幌中学校1年生の福澤芯之助さんが教育長を訪問しました。

福澤さんは、「初めての全国大会だが、自己ベストを更新したい」と意気込みを語り、町長は「(中学1年生は)まだまだ体力が伸び、可能性がたくさんある。今回の全国大会の経験をつうじて沢山学んでほしい。目標をクリアできるよう頑張ってほしい」と激励しました。

1/23

株式会社三菱UFJ銀行

紺綬褒章を伝達しました

令和4年12月に、株式会社三菱UFJ銀行様が脱炭素の推進に取り組む本町に2億円を寄付されたことを受け、公益のため多額の私財を寄付されたとして紺綬褒章の授与が決定されました。

本年1月23日に竹中町長が株式会社三菱UFJ銀行を訪問し、紺綬褒章を伝達しました。

町長は、「地域脱炭素の実現に向け、強力な後押しをいただいており感謝申し上げる。引き続き本町の取り組みを応援してほしい」と話しました。

1/30

地域酪農を応援！

市川組が乳製品を寄付

1月30日、株式会社市川組様から地域酪農を応援するためとして、乳製品30万円相当を寄付していただきました。

今回いただいた乳製品は、認定こども園や各学校で提供される給食に活用される予定です。

市川専務は、「苦境にある酪農家への応援をとおして上士幌と上士幌の子どもたちの力になれれば」と話し、杉原副町長は「酪農と子どもたちへの支援は大変ありがたい」と感謝の言葉を述べました。

役場の新人紹介

よろしくお願いします！

氏　　名　片桐（かたぎり）　詩音（しおん）　(23歳)
担 当 課　図書館(地域おこし協力隊)
出 身 地　函館市

少しでも皆さんの力になれるように頑張ります！！町や図書館で会った際は、声をかけてくださるとうれしいです！
よろしくお願いします。

▲2月3日、上士幌ライオンズクラブの皆さんが、11区通学路沿いに交通安全を祈願し、「交通安全雪だるま」の雪像を製作しました。

上士幌町SDGs推進 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs出前授業を実施しました！

上士幌小学校の５年生を対象としたSDGs出前授業の第11回目を、１月25日に実施しました。地域公開講座として実施し、３名の町民の方にご参加いただきました。テーマは「５ジェンダー平等を実現しよう」と「10 人や国の不平等をなくそう」で、特に難しいテーマではありましたが、実際に身の回りや世界中にある不平等について学ぶことが出来ました。

第４回ゼロカーボン推進プロジェクトチームを開催しました！

１月11日、第４回ゼロカーボン推進プロジェクトチームを開催しました。

町民の皆さんにSDGsやゼロカーボンの普及啓発を行っていただく「SDGs・ゼロカーボンマスター制度」について、今回は、ゼロカーボン推進課で作成したマスター制度の骨子案をメンバーの皆さんに共有し、申請の受付方法や、登録の更新などについて、さまざまなアイデアやご意見をいただきました。

また、マスターになった証として何がもらえたらうれしいのか、どんなものなら一目でマスターだとアピールできるのか参加者の皆さんに検討していただきました。十勝石や大豆など、上士幌の名産品を使って認定証・認定バッジを作るという案や、ステッカー・マグネットを作る案、パーカーや帽子など身に着けるものを作るという案など、ユニークな案をたくさん出していただきました。

第４回SDGs未来都市ワーキンググループを開催しました！

１月29日には、第４回SDGs未来都市ワーキンググループを開催しました。

今回は、前回作成した「自分新聞」を基に、自分や他のメンバーの強みを活かせるイベントや企画がないかを検討し、実際に開催する場合は、どのような役割が必要か、実施に向けた必要事項について話し合いました。

町内の活動などのお困りごとの解消や、世代間交流を促進する中間支援組織「かみしほろコミュニティサークル」実装に向け、まずは小さな規模での「強み」のマッチングを行うべく、引き続き検討を進めていきます。

「世界首長誓約」のイベントに町長が参加しました！

気候変動対策に取り組む地方自治体が参加する「世界首長誓約」のイベント「世界首長誓約/ 日本 ネクスト・ステージ2024」が名古屋市にて開催され、本町の竹中町長が参加しました。

イベントでは、脱炭素の取り組みのプレゼンや、他自治体とのパネルディスカッションが行われたほか、高校生や大学生といった若者との交流も行われ、気候変動を地域でのさまざまな問題とあわせて対策を進めていく必要性や、国や自治体の役割などについて意見が出されました。

かみしほろ スマートPASS

上士幌町 デジタル推進

No.03

新機能『町内循環バスの現在地マップ』が導入されました！

このコーナーでは、『かみしほろスマートPASS』が提供するサービスの詳細や新たに導入される機能について毎月ご紹介させていただきます。今回は、新機能『町内バスの現在地マップ』についてのご紹介です。

暦の上では春を迎えたとはいえ、外でバスを待つにはまだまだ厳しい寒さが続いております。出来ることなら、バスが近くに来るまでは暖かい屋内で待ちたい…。

このたび『かみしほろスマートPASS』に、町内循環バスの現在地が一目でわかるマップ機能が搭載されました！

▲かみしほろスマートPASSトップページ

▲マップ機能イメージ

現在は、コミュニティバス（火・水・金曜運行）と、自動運転バス（月・木・土曜運行）に対応しています。こちらは、会員登録していない方も見ることが出来ます。右のQRコードを読み取っていただくと『かみしほろスマートPASS』のホームページにつながります。ぜひ、町内循環バスをご利用される際にご活用ください。

▲かみしほろスマート PASS

なお、コミュニティバスと自動運転バスが運行していない日や時間帯には、表示されませんのでご注意ください。

■3 月2 日かみしほろ塾に体験ブースを設置します！

３月2 日に生涯学習センターわっかで行われるかみしほろ塾にて『かみしほろスマートPASS』の体験ブースを設置いたします。体験ブースでは、『かみしほろスマートPASS』への登録や機能の紹介だけではなく、町内循環バスに乗車するときに使える“顔パス”と“マイナンバーカードパス”の体験も出来ますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。マイナンバーカードの活用方法についてもご紹介する予定です。マイナンバーカードをお持ちの方はぜひ当日ご持参ください。また、当日『かみしほろスマートPASS』にご登録いただいた方には、限定のノベルティをプレゼントいたします！

『かみしほろスマートPASS』は皆さまの生活に役立つようなサービスをこれからも導入していく予定です。来年度も新たなサービスを導入できるよう準備しておりますので、ぜひ会員登録をお願いいたします。右のQR コード先より会員登録が可能です。

▲会員登録はこちら

“顔パス”と“マイナンバーカードパス”に必要な本人認証情報の登録は、デジタル推進課までお問い合わせください。

令和5年度 「上高たより」

上士幌高校です！

文責：教頭

No. 72
令和 6 年
2 月22日

TITLE：校則見直しに取り組んでいます

全国的な校則見直しの動きを受け、本校でも毎年それに取り組んでいます。今年度は運転免許取得に関して、今まで通学が２月～３月に集中して新年度までに取得ができない例がある現状を解消するため、通学時期を早めました。また、アルバイト規程についても許可制から届け出制に変更し、柔軟に対応できるようにしました。

△今までと同じリボンを付けた場合

△ネクタイを付けた場合

そうした中で、生徒から制服についての意見があり、全校生徒にアンケートを実施して執行部が原案を作成した結果、女子生徒のリボンを、ネクタイとの選択制とし、そのネクタイもエンジの縞柄からリボンと同じ生地のものにすることにしました。ジェンダー平等を意識した内容が生徒達からの提案であったことは、非常に価値のあることだと思っています。４月からの本校生徒の制服について、注意深く見てもらえればと思います。

上士幌高校新聞局通信

月刊 上高

卒業後の進路を真剣に考えました

文責 加納 夢萌

私たち２年生は１月24日（水）に１日６時間全部を使った就職ガイダンスがありました。東京のリーガルマインドという会社から来られた永井友子さんと太田尋之さんが講師でした。１・２時間目は仕事・求人の探し方やお辞儀・挨拶の練習をやり、３・４時間目は７つのグループに分かれて「会社づくりゲーム」をやりました。私のＧグループは会社名は「ラーメンの海岡家」に設定し、どういう人を採用するかということについて考えました。

午後からは進学と就職に分かれ、聞き取り者と応募者に分かれて、模擬面接を行い、講師の先生からアドバイスももらえました。自分は進学志望で太田先生が担当でしたが、うまく話せず、改めてよく考えなければいけないと思いました。

※この日の写真がないので１年生の宿泊研修(1/25) と３年生の熱気球体験(1/31) を掲載します。

△スキー上位クラスの雄姿

△離陸直前の期待に満ちた男子

△上空でご満悦の女子

Kamishihoro Highschool

町民文芸

短歌

物さがしこと葉さがすも情の無しおちつかぬ日々もう陽春だ　尾野よし乃

大寒は暖かかった暦では立春なのにいまだ厳寒
プロ野球一位になった阪神のファンになった今年も応援　加藤秋子

新しく増えた仕事に風呂掃除我の中では一番きつい　鈴木豊

十勝晴れ日高山脈きれいに見えど家の中ではマイナス近し　米森博樹

誕生日気付けば五歳プレゼント選ぶ娘のまぶしき笑顔　瀬戸洋明

いつもより寒い今朝は氷点下センターの車まだかと待ちし　中濵夏希

初雪を見て冬靴に替えてみる暖かくファーの付いたブーツのような　高木誠也

休憩中窓の外に舞い降りる落ち葉は雪に模様を作る　松田理恵

地震襲（ないおそ）い能登の被害の大きさに蘇る福島胸痛む　米森真弓

石川裕子

編集後記

➲ 今年も無事ウィンターバルーンミーティングが開催されました。昨年度は天気が残念でしたが、今年は両日とも快晴で、カラフルな気球が青空にとてもよく映えていましたね。若干残念だったのは風向きで、会場（航空公園）からの一斉離陸ができなかったことが悔やまれます。

同日、道の駅でもさまざまな催しが行われました。定番の体験搭乗をはじめ、屋台やちびっこ広場?夜には花火などもありましたね。運が良い方は、熱気球と機によるバルーングローも見られたかもしれません。これはインバウンド向けモニターツアーの実証で、ツアー客向けに行われたようです。風がかなり強く、スタッフは巫死制御していましたが、かなりつらそうでした。おつかれさまでした。…T

広報 かみしほろ 4月号は3月25日（月） 発行予定

戸籍の窓口

令和６年 1 月末現在の 人口

男　性	2,365人（-6人）
女　性	2,403人（-10人）
人　口	4,768人（-16人）
世帯数	2,566世帯（±0世帯）

令和 5 年度ふるさと納税寄付金

1 月分	21,896 件
	368,774,986 円
累計	84,626 件
	1,377,787,960 円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。
※２月１日現在

寄　付（2/13まで）

➲ １月30日、G-Clef代表岡﨑和恵様が、チャリティーライブの収益金から、上士幌町へ23,371円を寄付されました。また、能登半島地震への義援金として日本赤十字社上士幌分区へ20,000円を贈りました。